AO 入学選考

BUSINESS BREAKTHROUGH UNIVERSITY

ビジネス・ブレークスルー大学　経営学部

2018（平成 30）年度春期
ハッカソン入試　募集要項

IT ソリューション学科
（通信教育課程）

大学概要

名称	…	ビジネス・ブレークスルー大学
学長	…	大前　研一
学部・学科	…	経営学部 グローバル経営学科 IT ソリューション学科
専門職大学院　研究科	…	経営学研究科 経営管理専攻
設置主体	…	株式会社ビジネス・ブレークスルー

ビジネス・ブレークスルー大学は、東京都千代田区「キャリア教育推進特区」認定の株式会社による大学です（文部科学省認可）

教育上の理念（建学の精神）

ビジネス・ブレークスルー大学は、
知的創造を礎に、
国際的視野と開拓者精神を持ち、
先駆的指導者たらん人格を涵養し、
世界社会に貢献するを以って建学の精神とする。

校章が伝えるメッセージ

BBT University

“知のネットワークは、人間の能力を無限に伸ばす”

人材の養成に関する目的（経営学部）

ビジネス・ブレークスルー大学では、グローバル・シチズンとしての教養とビジネスマネジメントにおける理論と実践の融合した専門的能力を修得し、且つ国際的な視野と開拓者精神を備え、自ら考え判断し、高い倫理観を持って自己責任のもとに行動することのできる職業人・起業家を養成する。そして本学から、21 世紀の経済の潮流にのり、新しい経済の中で、アジア地域をはじめ、世界各地で経済活動を指導し、ひいては開拓者精神をもって新規事業を立ち上げるような人材が輩出されることを期待する。

教育研究上の目的

●経営学部　グローバル経営学科
グローバル経営学科は、グローバルビジネスコミュニケーション能力、論理的思考力、国際的な教養ならびに情報技術の基礎力と経営管理能力を備えた、国際的に活躍できるグローバルリーダーを育成することを目的とする。
●経営学部　IT ソリューション学科
IT ソリューション学科は、グローバルビジネスコミュニケーション能力、論理的思考力、国際的な教養ならびに経営管理の基礎力と情報技術を備え、IT ソリューション能力を基礎に国際的に活躍できるグローバルリーダーを育成することを目的とする。

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

●本学が求める人物像
本学の目的を達成するために、学生は本学のカリキュラムを通じて、「マインド・知識・スキル・実践力」の総合的な観点から、次のプロファイルを修得することを目標とする。
“経営学全般に精通し、獲得した知識・スキル・実践力等の能力を駆使して世界とくにアジアでビジネスを行い、結果を残すことができる”

●学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）
本学が定めた期間在学し、その教育の理念及び目的に基づいて設定したカリキュラムに従った教育を受けて、所定の単位以上を修得し、且つ卒業論文の最終審査に合格することが学位授与の要件である。本学が掲げるプロファイルに基づいて、マインド・知識・スキル・実践力が修得されているかどうかが、本学課程修了に際に考慮されるべき要素である。

	修業年限	在籍年限	卒業要件　①～③すべてを満たしていること
本科 (1年次入学)	標準4年 ※	8年	①4年以上在学すること ②卒業に必要な単位である124単位を修得していること ③②に加え、卒業論文の最終審査に合格し、4単位を修得していること
編入(転入) ⑵年次)	標準3年	6年	①3年以上在学すること ②卒業に必要な単位である124単位を修得していること ③②に加え、卒業論文の最終審査に合格し、4単位を修得していること
編入(転入) ⑶年次)	標準2年	4年	①2年以上在学すること ②卒業に必要な単位である124単位を修得していること ③②に加え、卒業論文の最終審査に合格し、4単位を修得していること

※上記に関わらず、3年以上在学し、卒業に必要な単位を優秀な成績で修得したと本学が認める場合には、文部科学大臣の定めるところにより卒業させることができる（早期卒業）。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

本学が策定する目指すべき人材を養成するべく、その能力を修得できるような科目の設置を行う。多様な背景を持つクラスメイトと自由闊達な議論を交わしながら、皆で事実を積み上げ、本質的問題を発見し、解決策を考え、集団知を高めながらお互いに学んでいく実践的な教育を実施する。
グローバル経営学科においては、経営学の基礎的分野の教育に加え、4年間を通し、グローバルなビジネス感覚を身に着けるべく、最新のグローバルビジネスについての継続的学習、また、英語によるビジネスコミュニケーションの強化を行う。
IT ソリューション学科においては、経営学の基礎的分野の教育に加え、多様性に富んだ IT 科目の基礎から応用までの継続学習、また、英語によるビジネスコミュニケーションの強化を行う。

入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

ビジネス･ブレークスルー大学では、建学の精神の理念と教育目的に応じ、入学者選抜試験を実施しており、アントレプレナーシップをもって未開の地を切り拓き、グローバルに活躍するアンビションをもった人の入学を求める。本学の建学の精神とオンライン教育方式を理解し、勇気を持って行動できる人をビジネス･ブレークスルー大学は国内外から広く受け入れる。
グローバル経営学科では、上記に加え、経営学のみならず、4年間を通し、グローバルなビジネス感覚を身に着けるべく、最新のグローバルビジネスについての継続的学習、また、英語によるビジネスコミュニケーションの強化に意欲ある人を求める。
IT ソリューション学科では、上記に加え、経営学のみならず、多様性に富んだ IT 科目の基礎から応用までの継続学習、また、英語によるビジネスコミュニケーションの強化に意欲ある人を求める。

I.　ハッカソン入試とは 3

II.　募集概要 4

募集定員 4
出願資格 5
出願にあたってのご注意 6
出願・入試日程 8

III.　出願 9

出願の流れ 9
出願方法 9
出願書類 12
証明写真 13
出願資格を証明する書類 14
国際バカロレア（IB）等取得者の出願資格書類について 16
既修得単位認定申請について 17
既修得単位認定申請書・記入方法 18
みなし単位認定申請について 20
専修学校専門課程（専門学校）卒業・成績証明書について 21

IV.　選考 22

選考方法 22

V.　合格発表と入学手続き 30

合格発表方法 30
合格後の流れ 30
入学手続き書類 30
学費（非課税） 31
入学辞退 31
教育ローン 32
日本学生支援機構奨学金 32
ハッカソン入試合格特典 33
システム要件 34
受講推奨環境と再生テスト 34
AirCampus® ポータル動作環境 35
指紋認証機器動作環境 35

I.　ハッカソン入試とは

「新しいアプリやサービスを自分の手で世の中に出してみたい」「それらをビジネスにしたい」BBT 大学は、そんな想いを持った方々を対象にハッカソン入試を実施します。

本ハッカソン入試のテーマは、「『わたし』が創る未来のビジネス」です。テーマの「わたし」には、みなさん一人ひとりが持っている「強い想いや原体験・問題意識」という意味が込められています。LINE や iPhone など今日の社会に大きなインパクトを与えているサービスやビジネスも、実は我々が普段見過ごしている課題（潜在的なニーズ）に気がついた者が、身近な一歩から試行錯誤を繰り返した結果として生み出されたものです。また、その過程においては、起業家自身の想いや問題意識が広く社会に共感を生み、多くの人を巻き込んでいく力が必要となります。その意味においても、起業家自身の強い想いや原体験・問題意識が重要になってくるのです。そしてその上でプログラミングの能力があれば、試行錯誤が容易になり、より早くビジネスの成功に近づくことができます。
本入試では、みなさん一人ひとりの想いや解決したいことを重視します。その上で、プログラミング等、新しいことにチャレンジする姿勢を評価します。

本入試では、以下のような点を総合的に評価します。
いずれかの点が特に秀でている場合も評価します。すべての点が秀でている必要はありません。

・共感させる力：自分の想いや問題意識が周囲の共感を生むか
・チャレンジに対する姿勢：プログラミングをはじめ、新しいことにチャレンジする姿勢
・発想力：問題解決方法やサービスのアイデアがユニークであるか
・表現力：自分の想いや問題意識、アイデアをわかりやすく表現できるか
・実現力：アイデアをプロトタイピングするためのスキル・プログラミング力

※本入試で優秀な成績をおさめ、入学後に未来のビジネスを創っていける可能性が高いと判断された方には、奨学金が付与される場合があります。詳しくは、p.35 を参照してください。

II. 募集概要

募集定員

学部	学科	出願区分	募集人員
経営学部	IT ソリューション学科	1 年次入学	若干名
		2 年次・3 年次入学 （編入学・転入学）	若干名

ハッカソン入試は、IT ソリューション学科の入学選考です。

出願資格

以下 1、2 の条件をすべて満たす者

1. IT ソリューション学科への入学を強く希望し、合格した場合は入学を辞退しない者
2. 以下に定める該当区分の出願資格を満たす者

下記「(卒業・修了・合格・修得・授与) 見込み者」は、2017（平成 29）年 9 月 30 日までの見込み者であること

(1) 1 年次入学

2017（平成 29）年 10 月 1 日時点で満 18 歳に達し、下記いずれかに該当するもの（特記事項がある場合はこの限りではない）

① 高等学校又は中等教育学校を卒業した者、および卒業見込みの者
② 高等専門学校第 3 学年修了者、および修了見込みの者
③ 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者（又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者を含む)、および修了見込みの者であって、本学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
④ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者、および修了見込みの者
⑤ 文科省が指定した専修学校の高等課程を修了した者および修了見込みの者（施行規則第 150 条第 3 号）
⑥ 文部科学大臣の指定した者（昭和 23 年文部省告示第 47 号）
⑦ 2017（平成 29）年 10 月 1 日時点で、高等学校卒業程度認定試験または大学入学資格検定合格者、高等学校卒業程度認定試験合格見込みの者
⑧ 学校教育法の規定による大学に入学した者であって、本学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
⑨ 本学において、個別の出願資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

※「1 年次入学」出願資格③⑧⑨により出願を希望する方は、事前に個別の出願資格審査を受け、審査の結果、資格を認定された場合のみ出願が認められます。詳しくはお問い合わせください。

※国際バカロレア（IB）ディプロマ資格、アビトゥア資格、バカロレア（フランス共和国）資格を有する方につきましては、「11. 国際バカロレア（IB）等取得者の出願資格書類について(p.16)」をご覧下さい。

(2) 2 年次入学（編入学・転入学）

下記いずれかに該当するもの

① 四年制大学、短期大学（外国の四年制大学・短期大学を含む)、高等専門学校を卒業した者、および卒業見込みの者
② 四年制大学、短期大学（外国の四年制大学・短期大学を含む）に 1 年以上在学かつ 32 単位以上修得した者
③ 専修学校の専門課程（修業年限が 2 年以上で総授業時間数が 1,700 時間以上または 62 単位以上であるものに限る）を修了した者
④ 高等学校の専攻科の課程を修了した者および修了見込みの者（施行規則第 100 条第 2 号）
⑤ 大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者、および授与される見込みの者

(3) 3 年次入学（編入学・転入学）

下記いずれかに該当するもの

① 四年制大学、短期大学（外国の四年制大学・短期大学を含む)、高等専門学校を卒業した者、および卒業見込みの者
② 四年制大学、短期大学（外国の四年制大学・短期大学を含む）に 2 年以上在学かつ 62 単位以上修得した者
③ 専修学校の専門課程（修業年限が 2 年以上で総授業時間数が 1,700 時間以上または 62 単位以上であるものに限る）を修了した者
④ 高等学校の専攻科の課程を修了した者および修了見込みの者（施行規則第 100 条第 2 号）
⑤ 大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者、および授与される見込みの者

※2 年次入学（編入学・転入学）および 3 年次入学（編入学・転入学）においては、提出される出願資格書類によって、事前に個別の出願審査を必要とする場合があります。

出願にあたってのご注意

(1) 留意事項

●出願および出願書類等について

- 入学期内に、複数回の出願はできません。
- 入学検定料納入後は、出願区分および学科変更は原則認められません。
- 出願書類および入学検定料については、理由の如何に関わらず返還いたしません。
- 出願書類一式は「書類審査」に関わりますので、不備のないよう、提出期限までに必着するようにしてください。
- 出願書類・入学手続き書類に虚偽の内容が認められた場合は、合格・入学許可を取り消す場合があります。

●二重学籍について

- 本学以外に短期大学・大学・大学院・専修学校専門課程に在籍中（もしくは在籍予定）の場合、在籍中（もしくは在籍予定）の学校が他校との二重学籍を認めていない場合があります。あらかじめご確認ください。
- 入学後は、本学オープンカレッジや株式会社ビジネス・ブレークスルーが提供している他プログラムとの並行受講は原則認められません（学部修士一貫教育プログラムを除く）。出願時点でプログラムを受講中の方は、出願前にご相談ください。

(2) 学習に必要なスキル等の事前修得

学習や履修登録等手続きをすすめるにあたり、下記のスキルを習得していることを前提とします。

パソコンスキル	①パソコン上のファイルや E メールを扱うことができる －タイピングができ、テキストの編集やコピー&ペーストができる －作成したファイルの保存先を指定したり、ファイル名を変更することができる －添付ファイルを送受信できる ②インターネットブラウザにて情報検索ができる －インターネット上のファイルのダウンロードができる ※　授業では、Microsoft Word、Excel、PowerPoint を使用します ※　初心者の方は、入学前にマイクロソフト「Office トレーニング センター」（無料）などでパソコンスキルの向上を推奨します https://www.microsoft.com/ja-jp/office/2013/business/training/default.aspx
英語力	高校卒業程度の英語レベル

※日本語力について

本学の授業は原則日本語で行います。母語が日本語でない場合、授業を履修する上で支障のない日本語能力(日本語能力試験(N1)程度)が必要です。書類審査・面接の内容をふまえ、入試面接後に別途、日本語能力を測るための個別審査試験を実施する場合があります。

(3) 受験および就学における配慮

病気・負傷や身体の機能等の障害により、受験・就学に際して特別な配慮を希望する場合は、
以下 3 点を出願手続き前に必ずメールにて入試係へご連絡ください。

① 障がいの種類・程度
② 受験及び学習において配慮を希望する事項
③ 出身校でとられていた配慮等

(4) 国際バカロレア（IB）等取得者の出願資格書類について

建学の精神に定める人材育成に寄与することを目的に、国際バカロレア（IB）ディプロマ資格、アビトゥア資格、バカロレア（フランス共和国）資格を有する方は、出願資格書類が一般入試と異なります。詳しくは「国際バカロレア（IB）等取得者の出願資格書類について(p.18)」をご覧ください。

(5) 外国籍の方の出願について

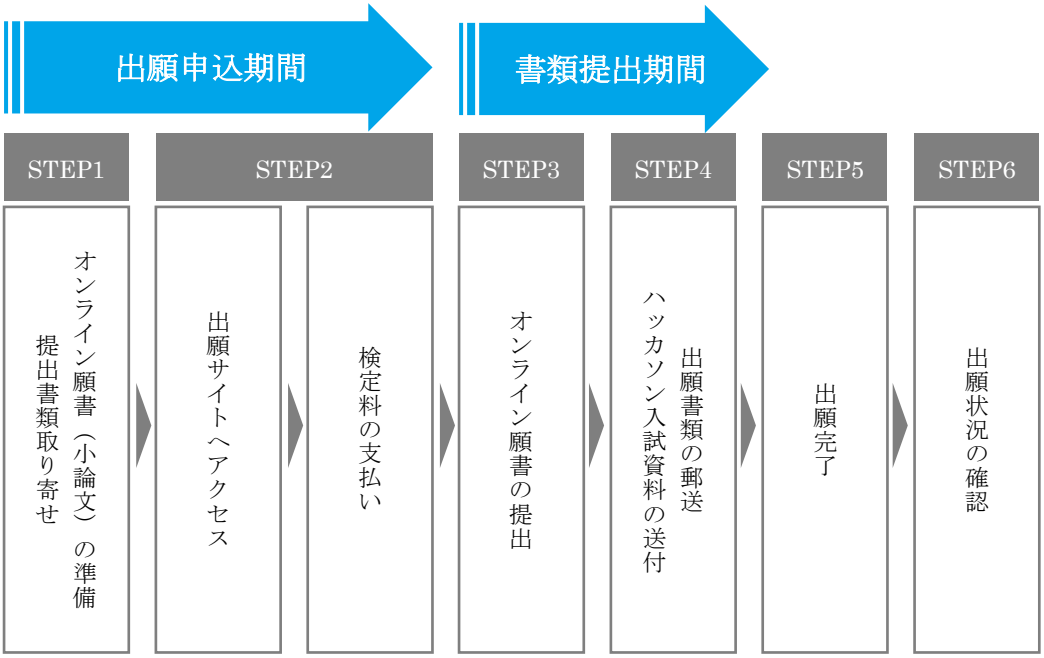
本学は通信制の大学のため、在留資格および留学生ビザを取得できません。

出願・入試日程

出願期間	2017 年 8 月 1 日（火） ～ 8 月 17 日（木）	出願書類に不備がある場合や、期限までに提出が確認できない場合は選考に進めません。
ハッカソン入試 発表資料の提出	2017 年 8 月 1 日（火）～8 月 23 日（水）	ハッカソン入試における発表資料の提出は、以下のメールアドレス宛にお送りください。 bbtuinfo@ohmae.ac.jp
ハッカソンイベント ※入試説明会を兼ねます	2017 年 8 月 27 日（日） 10:00～	会場：本学麹町校舎 ※開始時間 10 分前には来場してください 左記イベントは入試選考とは関連がありませんが、入試説明会を兼ねますので、ハッカソン入試を受験される方は参加必須です。 ※参加が困難な場合は、入試係までお問い合わせ下さい。
入学選考	2017 年 8 月 27 日（日） 15:00～	会場：本学麹町校舎 ①事前発表 ②ハッカソン ③事後発表
合格発表	2017 年 9 月 6 日（水） 15：00	メールにて発表
入学金 納入期間	2017 年 9 月 7 日（木） ～ 10 月 12 日（木）	所定の銀行口座に振込（合格者に案内）
入学書類提出 授業料等 納入期日	2018 年 3 月 7 日（水）	詳細は 30 ページ
入学式	2018 年 4 月 7 日（土） 会場：東京都内にて予定	当日は本人確認と学習時の本人認証に必要な指紋登録を実施します。本人確認は対面を原則としますので、入学式・オリエンテーションには必ずご出席ください。 やむを得ない事情で参加が難しい場合は、別途来学またはオンラインにて実施します。

III.　出願

出願の流れ



出願方法

STEP1　提出書類の取り寄せ・オンライン願書(小論文等)提出とハッカソン入試用資料の準備

➢　提出書類の取り寄せ

「出願書類(p.12)」を確認し、事前に出願書類を揃えてください。

※出願資格を証明する書類（調査書、成績証明書、卒業証明書等）は、最終出身学校への申請から発行まで 10 日程度要する場合がありますので、お早めにご準備ください。

➢　オンライン願書（小論文等）提出の準備

「STEP4 オンライン願書の提出(p.11)」の準備をしてください。

【小論文の課題内容】

下記①と②の両方についての自分の考えを合計 600～800 文字以内にまとめてください。

①　あなたが過去に直面した困難や問題を克服（または解決・突破）した内容について記述してください。

②　あなたの目標を示したうえで、現状と今後の目標の間にあるギャップを踏まえ、ビジネス・ブレークスルー大学で何を学び、どう活かしていくかについて記述してください。

➢　ハッカソン入試用資料の準備

「Ⅳ．選考(p.24)」を確認し、事前に出願書類を揃えてください。

※入学金・授業料等の納入で教育ローン利用を検討されている方は、この時点で仮申込をしてください。
詳細は「教育ローン(p.34)」を参照してください。

STEP2　出願サイトへのアクセス・入学検定料の納入

出願サイトへアクセスし、クレジットカード又は銀行振込みにて入学検定料 3 万円（非課税）を納入してください。納入を確認次第、出願サイトの ID（受験番号）を送信しますのでパスワードを設定してください。

出願サイト URL：https://www.bbt757.com/svlUnivApply/

※ 携帯電話・スマートフォン・タブレット端末等からは願書作成・提出ができません。

「出願サイト」へのアクセス方法

▼パソコン

①BBT 大学経営学部の WEB サイトにアクセスし、画面上部の「出願手続」をクリック

③　以下の画面からアクセスできます。

※ 一旦納入された入学検定料は返金できませんのでご了承ください。

STEP3　オンライン願書の提出

●所要時間（目安）：
事前に小論文原稿および履歴書・学歴書をご準備いただいた場合の入力所要時間　約 30 分
●入力項目：
氏名（3 種類：漢字・カタカナ・ローマ字）/生年月日/性別/住所/メールアドレス/就業経験/
勤務先別情報/在籍期間/実務経歴/高校コード/出身校別学校歴情報/高校認定試験合格年度/
志望学科/公的資格取得・表彰・受賞歴/小論文/BBT 会員 ID/BBT プログラム受講歴/
紹介者氏名/受講で使用する PC の OS 種別（指紋認証機器用）

パソコンで出願サイトへログインし、「願書作成・提出」のボタンをクリックし、STEP1 で準備した小論文を提出してください。あらかじめ履歴書をご準備いただくと入力がしやすくなります
※ 氏名は、戸籍に記載されている通りに入力してください。入力できない文字の場合は、入試係までお知らせください。
※ 学歴は高校入学（高校認定試験合格）から入力してください。
※ 学習時に使用する OS（Windows または Mac OS）をご申請いただきます。こちらの申請をもとに学習時に必要な指紋認証機器（Windows 用または Mac OS 用）を 1 台支給しますので、申請時に間違えないようご留意ください。

STEP4　出願書類の郵送・ハッカソン入試資料の送付

●STEP1 で揃えた「出願書類」を郵送で提出する。

≪提出先≫
〒145-8799
日本郵便株式会社　田園調布郵便局留
ビジネス・ブレークスルー大学　経営学部　入学センター

※ 「出願書類在中」と封筒の表面に朱書きし、簡易書留で提出してください。

●STEP1 で作成した「ハッカソン入試用資料」を bbtuinfo@ohmae.ac.jp 宛に E メールでお送りください。
※ 「ハッカソン入試用資料」の容量が大きい場合（20MB をこえる）には、ファイル転送サービスをご利用の上、お送りください。

STEP5　出願完了

オンライン願書の提出・出願書類とハッカソン入試資料の到着をもって出願は完了です。

STEP6　出願状況の確認

出願サイトにて出願書類の受理状況が確認できます。出願書類は本学で受領後 5 日以内（土日祝除く）に出願サイトに反映されます（合格発表および学納金の納入状況等も出願サイトにて確認してください）。

選考

※詳細はⅣ選考（p.24）をご覧ください。

出願書類

出願書類一式をもとに書類審査を行いますので、不備のないよう、提出期限までに郵送にて必着するようにしてください。出願資格証明書類および出願書類の提出は郵送のみ受付します。
小論文はオンライン願書から提出してください。
ハッカソン入試用資料は bbtuinfo@ohmae.ac.jp 宛に E メールでお送りください。

必須：必須書類　　○：該当する方のみ提出　　本学指定書式：指定 B は巻末の書式を使用のこと

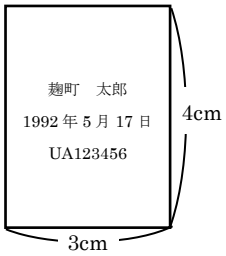
出願区分		必要書類	本学指定書式	備考	説明箇所
一年次	編入学転入学				
必須	必須	小論文	—	出願サイト（Web）より提出してください。 ※郵送ではありません。	p.9
必須	必須	証明写真（2 枚）	—	面接時と学生証に使用します。	p.13
必須	必須	出願資格を証明する書類	—	詳しくは「出願資格を証明する書類(p.14)」を参照。	p.14-15
必須	必須	ハッカソン入試用資料	—	詳しくは「Ⅳ．選考(p.22)」を参照。	p.22-23
○	必須	既修得単位認定申請書	—	専修学校専門課程で修得した単位の認定を希望する方は、本申請書と併せて本学指定の「専修学校専門課程（専門学校）卒業・成績証明書(p.39)」を提出してください。	p.18-19
○	必須	既修得単位認定申請科目のシラバス	本学ホームページからダウンロード	既修得単位認定を申請する方は、単位を修得した科目のシラバスを提出してください。 ※大学院で習得した単位は申請できません。	p.17-19
○	○	みなし単位認定申請書	指定Ｂ	本学指定の「単位認定書(p.37)」を提出してください。	p.20
○	○	みなし単位認定申請で、資格取得等を証明するもの	—	➢ 検定試験結果、資格取得を証明する書類（合格証書、基準点以上を証明する書類の写し等）。 ➢ 申請科目で指定がある場合は指定された書類。	p.20
○	○	戸籍個人事項証明書（戸籍抄本）等	—	婚姻等により証明書記載の姓と現在の姓が異なる場合は、提出してください。	-
○	○	その他	—	実績（一芸等）を証明する書類がある場合は、提出してください。	-

※　出願書類に不備がある場合や期限までの提出が確認できない場合は、出願受付が保留となり面接に進んでいただくことはできません。
※　提出された出願書類の確認後、追加で書類を提出していただく場合があります。
※　国際バカロレア等取得者の出願書類に関しては「国際バカロレア（IB）等取得者の出願資格書類について(p.18)」および経営学部ホームページをご覧ください。
※　下記に該当する方は出願時に入試係までお問い合わせください。指定の書式（通称名/旧姓使用届）を送付いたします。
　① 日本以外の国籍をお持ちの方で通称名を使用希望の方
　② 婚姻関係または養子縁組により姓名 に変更がある方で変更前の姓名（旧姓）を使用希望の方

証明写真

表面

裏面



面接時、証明写真をもとに、本人確認を行います。また、こちらを学生証に使用します。

※ 縦 4 ㎝ × 横 3 ㎝

※ 正面向き、上半身、無帽、無背景、目元輪郭を隠していないもので、出願前 6 ヶ月以内に撮影したものを提出

※ カラー、白黒は問いません

※ 裏面に必ず「氏名」、「生年月日」「受験番号」を記入

出願資格を証明する書類

出願区分と最終学歴により、出願資格を証明する書類が異なります。以下の表を確認し、必要な書類を準備してください。出願資格証明書類および出願書類（p.11）の提出は郵送のみ受付します。
小論文のみオンライン願書から提出してください。
※　出願資格を証明する書類（調査書、成績証明書、卒業証明書等）は、最終出身学校への申請から発行まで10日程度要する場合があります。お早めにご準備ください。

出願区分	出願資格区分	必要書類	備考
本科 (1年次入学)	高等学校　卒業	高校調査書 ・調査書の保存期間の経過、廃校、被災その他の事情により調査書が発行されない場合は、1と2の両方を提出すること。 1. 卒業証明書 2. 調査書の発行不能証明または成績証明書の発行不能証明書	文部科学省所定の様式で出身学校長が発行したもの
	大学入学資格検定合格 高等学校卒業程度認定試験合格	合格成績証明書	「合格証明書」は不可
	高等専門学校３年次修了	1と2の両方 1. ３年次修了証明書 2. 成績証明書	-
	外国において、学校教育における12年の課程の修了者	1と2の両方 1. 修了証明書 2. 成績証明書 ※出願前に入試係までお問い合わせください。（bbtuinfo@ohmae.ac.jp）	日本と外国双方の高等学校に在籍した場合は、日本の高等学校の「調査書」も併せて提出
	専修学校　高等課程 修了	1と2の両方 1. 卒業証明書 2. 成績証明書	文部科学省の URL で確認してください。 http://www.mext.go.jp/a_menu/shougai/senshuu/1332600.htm
	専修学校　専門課程 卒業	本学指定の「専修学校専門課程（専門学校）卒業・成績証明書（指定 C）」で提出	文部科学省の URL で確認してください。 http://www.mext.go.jp/a_menu/shougai/senshuu/1332600.htm
	各種学校　卒業	1と2の両方 1. 高校卒業証明書 2. 各種学校の卒業証明書および成績証明書	
	大学・短期大学卒業・在学	1と2の両方 1. 以下 a～c のいずれか a. 卒業(修了) 証明書 b. 在学証明書 c. 在籍期間証明書 2. 成績証明書	外国の大学・短期大学を卒業・在学・中退の場合は、高校の卒業証明書を合わせて提出
	大学・短期大学　中退	1と2の両方 1. 在籍期間証明書または退学証明書 2. 成績証明書	＜同上＞

2 年次編入(転入)・3 年次編入(転入)	大学 卒業 短期大学 卒業 高等専門学校 卒業	1 と 2 の両方 1. 卒業証明書 2. 成績証明書	-
	専修学校　専門課程 卒業	本学指定の「専修学校専門課程（専門学校）卒業・成績証明書（指定 C）」で提出	外国の専門学校卒業の場合は編入(転入)への出願不可
	高等学校　専攻科 修了	1 と 2 の両方 1. 修了証明書 2. 成績証明書	-
	大学・短期大学　在学	1 と 2 の両方 1.以下 a, b のいずれか a. 在学証明書 b. 在籍期間証明書 2.成績証明書 ・2 年次編入(転入)：32 単位以上修得 ・3 年次編入(転入)：62 単位以上修得	外国の大学に在学・中退の場合は、高校の卒業証明書を合わせて提出
	大学・短期大学 中退	1 と 2 の両方 1. 在籍期間証明書または退学証明書 2. 成績証明書 ・2 年次編入(転入)：32 単位以上修得 ・3 年次編入(転入)：62 単位以上修得	＜同上＞

◎留意事項

※　当該学校の成績証明書または調査書は、開封無効とします。
※　出願時に卒業・修了見込みの方は、入学時までに卒業後の卒業・修了証明書を提出してください。
※　英語以外の外国語で作成された書類については、公的機関や民間の翻訳会社等が発行する日本語または英語の翻訳を必ず添付してください。

≪送付先≫
〒145-8799　日本郵便株式会社　田園調布郵便局留
ビジネス・ブレークスルー大学　経営学部　入学センター
※　「出願書類在中」と封筒の表面に朱書きし、簡易書留で提出してください。

国際バカロレア（IB）等取得者の出願資格書類について

国際バカロレア（IB）ディプロマ資格者、アビトゥア資格、バカロレア（フランス共和国）資格を有する方については、下記の出願資格書類提出が必要です。選考方法・合格発表等は一般の出願者同様に行います。

(1) 対象者

下記の 1.~4.のいずれかに該当し、2017（平成 29 年）年 9 月 30 日時点で満 18 歳に達する者。

1. スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア（IBPD）のディプロマ資格を有する者。
   IBDP 取得者では総合点 26 点以上（6 教科から 24 点、Extended Essay 1 点 Creativity/Action/Service1 点）が必要。
2. ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者。
3. フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者。
4. 上記 1～3 の資格取得見込者（入学までに国際バカロレア資格が取得できない場合は合格取消となります）。

※ 日本語能力について：本学の授業は原則日本語で行いますので、授業を履修する上で支障のない日本語能力（検定の種類は問いませんが 1 級程度の能力）を有することが、学習を進める上での条件となります。入試面接後に別途、日本語能力を測るために個別審査試験を実施する場合もあります。
※ 外国籍の方へ：本学は通信制の大学のため、在留資格および留学生ビザを取得できません。

(2) 出願方法および出願書類の提出締切日

出願方法　　：一般の出願者と同様。詳細は「Ⅲ.出願(p.9)」をご覧ください。
出願書類の提出締切日：一般の出願者と同日。詳細は「出願・入試日程(p.8)」をご覧ください。

(3) 提出書類

(ア) 願書（小論文）	「出願サイト」より提出してください。
(イ) 証明写真（２枚）	p.15 を参照のうえ、提出してください。
(ウ) 資格証書の写し	上記 1～3 で発行される資格証書の写しを提出してください。
(エ) 成績証明書	上記 1～3 で発行される成績証明書の原本（コピー不可）を提出してください。 国際バカロレア成績証明書提出の方は（カ）も必須です。
(オ) 資格取得（見込）証明書	（ウ）（エ）が出願期間最終日までに提出できない場合は「資格取得（見込）証明書」を提出してください。 ※ 原本（コピー不可）を提出してください。 ※ 入学までに資格が取得できない場合は合格取消となります。
(カ) 国際バカロレア最終試験 6 科目の成績証明書	総合点 26 点以上（6 教科から 24 点、Extended Essay 1 点 Creativity/Action/Service1 点）の成績証明書 ※入学までに上記の得点が取得できない場合は合格取消となります。

既修得単位認定申請について

他の大学、短期大学、高等専門学校、専修学校専門課程、高等学校専攻科で修得した単位を、本学科目の履修により修得したものとして認定します。申請は「入学時の１回のみ」受付いたしますので、必要書類は出願時に出願書類一式とともに提出してください。（※2 年次・3 年次（編入学・転入学）出願者は必ず提出してください）。本学の科目等履修制度により修得した単位も申請が必要となります。認定単位数の上限は以下の通りです。

- 1 年次入学　　：みなし単位認定等と合わせて 48 単位
- 2 年次編入学・転入学：みなし単位認定等と合わせて 48 単位
- 3 年次編入学・転入学：みなし単位認定等と合わせて 62 単位

※　上限単位数には、本学の科目等履修制度で修得した単位数は含みません。
※　いずれも上限単位数を越えて申請できますが、本学で審査の上、認定可能な単位数内でのみ認定します。
※　大学院で修得した単位は申請できません。

(1)　申請方法

出願時に、郵送にて(ア)～(ウ)すべてを提出してください。本学の科目等履修制度により修得した単位を申請する場合は(ア)、(イ)を提出してください。メール添付および URL 記載での提出は認めません。

提出書類	備考
(ア) 成績証明書	※ 大学院修了の方も、学部の成績証明書を提出してください。 ※ 専修学校専門課程修了者は本学指定の「専修学校専門課程（専門学校）卒業・成績証明書（p.41）」を使用してください。
(イ) 既修得単位認定申請書	※ 付属もしくは本学ホームページよりダウンロードして印刷した申請書を提出してください。
(ウ) (イ)にて申請した科目のシラバスのコピー（他大学のもの）	※ 授業内容、単位数がわかるシラバスをコピーしてください。 ※ 1 ページに複数のシラバスが記載されている場合は該当科目が分かるよう、マーカーなどで囲ってください。

(2)　結果通知

10 月 1 日以降に結果を郵送で通知します。
また、郵送前に出願時に登録されたメールアドレス宛に、発送通知メールをお送りします。

(3)　認定後の成績の取扱いについて

- 認定された場合、成績評価は認定として表示されます。成績スコアとなる GPA（Grade Point Average／成績評価の平均点）には加算されません。
- 認定の翌期以降であれば、認定を取り消した上で、通常の履修・受講による単位修得（評価は A+～F）が可能です。

※　一度認定を取り消した科目について、再度認定申請をすることはできません。

(4)　認定科目の聴講制度について

単位認定された科目は、希望する場合、講義映像を視聴することができます。聴講を希望する場合は、認定結果を確認後、学部教務部（bbtukamoku@ohmae.ac.jp）までメールでお問い合わせください。

既修得単位認定申請書・記入方法

1. 出願時に志望した学科、および出願期に該当している既修得単位認定申請書（本学ホームページよりダウンロードしたもの）を用意してください。
2. 用紙上部の申請日・受験番号・申請者氏名を記入してください。
3. 単位認定を希望する科目を、以下の通りに記入してください（留意事項に関しては次ページの見本参照）。
   ① 既修得科目と類似する本学科目を、科目名一覧から探す。
   ※本学の科目概要は、以下より確認して下さい。
   Web シラバス：https://sites.google.com/a/ohmae.ac.jp/bbt/home
   ② 既修得科目と本学の対象科目の内容が近しいものかを確認する。
   ③ 既修得科目の単位数と本学の対象科目の単位数を確認する。
   ※既修得科目の単位数は本学の対象科目の単位数と同等か上回る必要があります。
   ④ 既修得科目のシラバスを取得し、既修得科目の「既修得科目名」「単位数」を記入する。

≪その他：複数の科目を統合して申請する場合≫
単独では本学開講科目の単位数に満たない授業科目であっても、授業科目の内容に関連性が認められる複数の授業科目の組み合わせで同等以上の単位数となれば申請することができます。その場合は備考欄に記載してください。

【記入例】本学科目「グローバルフィールドスタディ 2 単位」の場合

本学開講科目				既修得単位認定申請欄 科目名称と単位数は提出する成績証明書・シラバスと同じ内容を記載のこと			事務欄（記入不可）
分野	科目名	年次	単位数	既修得科目名	単位数	備考	
統合	グローバルフィールドスタディ	2	2	多文化理解＋フィールドスタディ	3	多文化理解(2単位)＋フィールドスタディ(1単位)	
	Webマーケティング実習	3	2	Webマーケティング	2	シラバスなし	
	プロフェッショナル・ミッション	3	4				

≪留意事項≫
※ 既修得単位認定申請書およびシラバスは印刷したものを郵送してください。それ以外は受け付けません。
※ 申請する科目のシラバスは 1 科目につき 1 シラバスで提出してください。
※ コース全体としてのシラバスを提出、またはコース全体のウェブサイトのみの記載などの場合は受け付けません。
※ 既修得単位申請書と成績証明書の 2 点をもとに、単位認定を行います。万が一本学の科目に該当する科目を修得していない場合でも、申請書は提出してください。その場合、空欄で構いません。
※ 大学院で修得した単位は申請できません。

見本

※　IT ソリューション学科で出願される方は、
「IT ソリューション学科既修得単位認定申請書」を提出してください。

グローバル経営学科既修得単位認定申請書

2017F
提出用

ビジネス・ブレークスルー大学　学長殿

学則第15条に基づき、他大学等での既修得単位の認定を申請します。

申請日	2017年10月1日	※入力必須
受験番号	UA123456	※入力必須
申請者氏名	麹町　太郎	※入力必須

※「申請日」「受験番号」「申請者氏名」を必ず記入してください。

※記入方法は、下記入例シートを参照してください

本学開講科目					既修得単位認定申請欄 科目名称上単位数は提出する成績証明書・シラバスと同じ内容を記載のこと			審査欄（記入不可）
分野		科目名	配当年次	単位数	既修得科目名	単位数	備考	
統合		グローバルフィールドスタディ	2	2	多文化理解＋フィールドスタディ	3	多文化理解(2単位)＋フィールドスタディ(1単位)	
		Webマーケティング実習	3	2	Webマーケティング	2	シラバスなし	
		プロフェッショナル・ミッション	3	4				
英語力	実践英語力	Essential English Reading	1	1				
		Essential English Writing	1	1				
		Essential English Speaking	1	1				
		Essential English Listening	1	1				
		English Grammar	1	2				
		English Composition	1	2				
		English Pronunciation	1	2				
		Business English Basics	2	2				
		Business English Reading	2	2				
		Business English Speaking	2	2				
		English Reading & Listening Ⅰ	1	2				
		English Reading & Listening Ⅱ	1	2				
		Business English Discussion Ⅰ	2	2				
		Business English Discussion Ⅱ	2	2				
		English Conversation Ⅰ	1	2				

※　申請書に記入する際は、科目名がご提出のシラバスの科目名と一致するように記載してください。

※　単位修得時のシラバスが取得できない場合は、現在の当該科目のシラバス、または単位を修得した大学、短期大学、高等専門学校、専修学校のホームページ等の科目概要を提出してください。その際は、必ず既修得単位認定申請書の備考欄にその旨を記載してください。

※　申請科目の単位数が、本学の科目単位数よりも同等、または多いかどうかを確認してください。

＜略＞

		FinTech・ブロックチェーンビジネス概論	3	2				
GMP	基礎	GMP Prep Course A	1	2				
		GMP Prep Course B	1	2				
	応用	International Management Basics	2	2				

本学科目等履修・修得単位	科目名	単位数	受講年

※　本学の科目等履修制度により修得した単位は、こちらの欄に記入してください。また、書類提出時に履修中の場合は受講年の横に「履修中」と追記してください。

※　科目等履修制度により修得した単位の認定に上限はありません。また成績証明書を提出してください。

みなし単位認定申請について

学外で取得した資格や検定試験の成績が基準に達している場合には、本学科目の履修とみなし、単位を認定します。申請は出願時に受け付けますが、入学半年後以降の毎年 3 月・9 月頃も申請可能です。

(1) 申請対象科目

下記を除く全科目
スタートアップゼミ、グローバル経済と経営 1～4、問題解決基礎 1・2、問題解決応用 1・2、卒業論文

(2) 申請方法

出願時に、郵送にて a～c を提出してください（出願時申請対象科目以外の科目については入学後、本学指定時期に申請可能）。

（ア） みなし単位認定申請書
（イ） 検定試験結果・資格取得がわかる書類（合格証書、基準点以上を証明する書類の写し等）
（ウ） 申請科目で指定がある場合は、指定の添付資料

※ 英語科目については、「みなし単位認定制度」の基準に準ずるレベルに達していることを重視しているため、TOEIC、TOEFL、英検など検定試験の成績や海外での生活経験を示す文章など、審査材料として別途補足資料の提出が必要となる場合があります。詳細は次の URL で確認してください。
https://bbt.ac/admission/download/shikakukentei.pdf

(3) 記入方法

p.39 の単位認定申請書に学外で取得した資格や検定試験名および成績等を記入してください。
認定単位数の上限は以下の通りです。

- 1 年次入学　　：既修得単位認定等と合わせて 48 単位
- 2 年次編入学・転入学：既修得単位認定等と合わせて 48 単位
- 3 年次編入学・転入学：既修得単位認定等と合わせて 62 単位

本学の科目概要は、以下から確認して下さい。
Web シラバス　→　https://sites.google.com/a/ohmae.ac.jp/bbt/home

(4) 結果通知

10 月 1 日以降に結果を郵送で通知します。
また、審査結果は、郵送で通知します。また、郵送前に出願時に登録されたメールアドレス宛に、発送通知メールをお送りします。

(5) 認定後の成績の取扱いについて

- 認定された場合、成績評価は認定として表示されます。成績スコアとなる GPA（Grade Point Average／成績評価の平均点）には加算されません。
- 認定の翌期以降であれば、認定を取り消した上で、通常の履修・受講による単位修得（評価は A+～F）が可能です（一度認定を取り消した科目について、再度認定申請をすることはできません）。

(6) 認定科目の聴講制度について

単位認定された科目は、希望する場合、講義映像を視聴することができます。聴講を希望する場合は、認定結果を確認後、学部教務部（bbtukamoku@ohmae.ac.jp）までメールでお問い合わせください。

専修学校専門課程（専門学校）卒業・成績証明書について

本学指定の「専修学校専門課程（専門学校）卒業・成績証明書(p.41 指定 C)」は専修学校専門課程を卒業した方が、本学への 1 年次および 2 年次・3 年次入学（編入学・転入学）を志願するにあたっての出願資格要件の有無を確認するための書類です。次の留意点を確認の上、卒業した専修学校専門課程（専門学校）へ発行依頼をしてください。発行依頼する際は、本学指定書式（指定 C）および裏面の依頼説明書を証明書発行ご担当者へ提出してください。

(1) 発行の条件

この証明書は、編入学の資格要件を満たす専修学校専門課程を卒業したことを証明する書類です。
以下の①と②をともに満たす方が対象となります。

① 高等学校等を卒業し、大学入学資格を有する方
② 出身校の専門課程が、以下の(ア)または(イ)のいずれかに該当する方
　(ア) 専門士の称号の付与が認められている（専門士は平成 6 年度以降制定の称号）
　(イ) ➢ 修業年限が 2 年以上で、修了に必要な総授業時数が 1,700 時間以上である。
　　➢ 試験等により成績評価を行い、その評価に基づいて課程修了の認定を行っている。

※ 専修学校制度発足（=昭和 51 年 1 月）前の卒業者は編入学の出願要件を満たさないため、本証明書の発行はできません。
※ 本証明書の請求者が卒業した年月日以降に専修学校専門課程としての認可を受けた場合は、本証明書の発行依頼はお控えください。また卒業した専修学校より本証明書を発行できない理由をご確認ください。

(2) 記入に関する留意事項

※ すべての項目について、もれのないよう、記入して下さい。
※ 「授業科目名」「授業時数または単位数」「評価」の欄につきましては、記載項目が同一であれば卒業校の成績証明書を別添えで提出していただいても構いません。ただし、成績証明書を別添えで提出していただく場合も、下欄の「発行年月日」「学校所在地」「学校名」「学校長名」「校長印」を含め、もれなく記入していること、ならびに押印があることを確認してください。

●廃校・統合の場合
※ 証明書の請求者が卒業した学校が廃校もしくは統合されており、当時の学校名で本証明書を作成できない場合は、その理由を本証明書の発行者に余白へ明記してもらってください。

IV.　選考

選考方法

以下の 「1. 書類選考」および「2. ハッカソン入試」にて選考します。

1. 書類選考	以下の(1)、(2)を提出してください。 **(1) オンライン願書** 入力フォームに以下の問いに対する回答を記入してください。 （あらかじめ文章を作成しておくと、コピー&ペーストなどをしてスムーズに提出できます） ---------- 下記①と②の両方についての自分の考えを合計 600～800 文字以内にまとめてください。 ① あなたが過去に直面した困難や問題を克服（または解決・突破）した内容について記述してください。 ② あなたの目標を示したうえで、現状と今後の目標の間にあるギャップを踏まえ、ビジネス・ブレークスルー大学で何を学び、どう活かしていくかについて記述してください。 ---------- **(2) ハッカソン入試用資料** 以下のテーマに従って資料を作成し、提出して下さい。 テーマ：「わたし」が創る未来のビジネス あなたが創りたいもののアイデアとなぜ創りたいのか、あなたの想いや問題意識を伝えて下さい。 提出形式は、以下のいずれかとしてください。 分量や容量の制限はありませんが、次ページ「2. ハッカソン入試」の「第 1 部：事

	前発表」にて 5 分程度で発表できる内容としてください。 ・Word、テキスト等の文章形式（.docx 形式またはメールに文章を記載して提出） ・PowerPoint 等のスライド形式（.pptx または.pdf 形式） ・絵や写真などの画像形式（.jpg または.png または.gif 形式） ・動画形式（.mp4 または.mov 形式） ・プログラミングによるソフトウェア形式（.exe または Web に公開した URL 形式） ※上記のいずれかの形式での提出であれば、作成に使用するツールは特に制限しません ※提出方法は、「6. 出願手続き」を参照してください」
2. ハッカソン入試	**(1) ハッカソン入試の構成** 以下の 3 部構成により審査を行います。 **第 1 部：事前発表** **第 2 部：ハッカソン（個人毎のワーク）** **第 3 部：事後発表** **(2) 審査基準** 以下の 5 点を総合的に評価します。 すべての点が秀でている必要はありません。いずれかの点が特に秀でている場合も評価します。 ・共感させる力：自分の想いや問題意識が周囲の共感を生むか ・チャレンジに対する姿勢：プログラミングをはじめ、新しいことにチャレンジする姿勢 ・発想力：問題解決方法やサービスのアイデアがユニークであるか ・表現力：自分の想いや問題意識、アイデアをわかりやすく表現できるか ・実現力：アイデアをプロトタイピングするためのスキル・プログラミング力 **(3) 各部の詳細** **第 1 部：事前発表** 以下のテーマに沿って、面接官に対し各自発表（プレゼンテーションまたはデモンストレーション（デモ））を行います。

テーマ：「わたし」が創る未来のビジネス

あなたが創りたいもののアイデアとなぜ創りたいのか、あなたの想いや問題意識を伝えて下さい。

発表は、創りたいもののアイデアなどについて、「1. 書類選考」の「(2)ハッカソン入試資料」で提出した資料を元に発表してください。

発表内容に対し、審査員である面接官が質疑を行うので、受験者は応答してください。質疑応答を通して、面接官が「第 2 部:ハッカソン」で取り組むべき内容をフィードバックします。

【発表形式】

発表形式は、以下のようになります。

Word、テキスト等の文章形式の場合：文章をベースに口頭で発表してください。

PowerPoint 等のスライド形式の場合：スライドをベースにプレゼンテーションをしてください。

絵や写真などの画像形式の場合：絵や写真をベースに口頭で発表してください。

動画形式の場合：動画を再生し、何か補足などがあれば口頭で説明してください。

プログラミングによるソフトウェア形式の場合：ソフトウェアを実際に動かしてデモをし、補足があれば口頭で説明してください。

※上記以外の発表形式を取りたい場合は、事前に入試係まで相談してください。

【試験時間】

発表（プレゼンテーションまたはデモ）：5 分

質疑応答：5 分～10 分程度

第 2 部:ハッカソン（個人ワーク）

「第 1 部: 事前発表」の質疑応答を通して、面接官から提示されたフィードバックを参考に各自のアイデアやプラン、発表方法を更新・改善などします。

「第 3 部：事後発表」の準備をします。

【ワーク形式】

各自パソコンを利用して、ワークを実施します。

※パソコンは大学側で準備しますが、プレゼンテーションやソフトウェアの作成の過程で、各自のパソコンが必要になる場合は、各自モバイルパソコンをご持参ください。
※ワーク中は面接官が同席し、不正行為および禁止事項（通信手段を用いて他者とコミュニケーションを行うこと）を監視します。

【試験時間】
ハッカソン（個人ワーク）：60 分

第 3 部：事後発表
「第 2 部：ハッカソン」で取り組んだ内容とその成果に関して、面接官に対し各自プレゼンテーションまたはデモンストレーション（デモ）を行います。
「第 1 部：事前発表」のフィードバックをどう受け取り、どのような判断のもと「第 2 部：ハッカソン」にて取り組む内容を決めたのか説明の上、取り組んだ内容とその成果に関してプレゼンテーションまたはデモンストレーション（デモ）を行ってください。

※発表形式は、「第 1 部：事前発表」と同様になります。

【試験時間】
発表（プレゼンテーションまたはデモ）：5 分
質疑応答：5 分～10 分程度

≪Q&A≫
Q. ハッカソンとは何ですか？
A. ハッカソンとは、グループでアイデアやプロトタイプを創り、聴衆の前でそれらを発表することで成果を競い合う、短期集中型のイベントです。

Q. デモンストレーション（デモ）とは何ですか？
A. 見本や試作品などを使って実演し、新しいアイデアなどについて伝えること

	です。 Q. 試験当日までにどのような準備（勉強）を行えばよいですか？ A. 自身の想いや問題意識を、家族や友人など周囲の人に伝える練習をしてみましょう。言いたいことが整理して伝えられているか、自分の伝えたいことがきちんと相手に伝わっているか、どのような点が不足しているか、といった点を自己内省し、伝える内容や伝え方（表現力）を改善していきましょう。 Q. 事前発表の資料を作るときに、どんな点に注意すべきですか？ A. 相手に創りたいもののイメージができるだけ伝わることが重要です。言葉で伝える形でも問題ありませんが、見える形になっているとより相手に伝わりやすいでしょう。 Q. 事前発表・事後発表はどのように実施しますか？ A. BBT 大学側で準備したパソコンに各自が事前に提出した資料を入れ、プロジェクターにて投影しながら実施します。ただし、デモなどを自分のパソコンで動かしたい場合は、各自のパソコンを使って発表することも可能です。 Q. 入試説明会を兼ねるハッカソンイベントは出席必須ですか？ A. はい、必須です。ハッカソンイベントにて審査基準や審査方法の詳細を説明します。また、プロトタイピングの手法など、審査時における短時間の個人ワークをどのように取り組めば良いかに関してもハッカソンイベントにて指南します。 ※参加が困難な場合は、入試係までお問い合わせ下さい。 Q. 入試にパソコンを持参する必要はありますか？ A. 入試説明会を兼ねるハッカソンイベントではノートパソコンが必要になりますので、可能な限りノートパソコンを持参してください。なお、入学選考に関わるハッカソン入試では、基本的に BBT 大学のパソコンを貸し出しすることが可能です。ノートパソコン持参の有無や性能が選考に影響を与える事はありません。 ※当日ノートパソコンを持参できない方は、予め入試係へお問い合わせください

	Q. プログラミングができることは必須ですか？ A. 必須ではありません。創りたいものと自分の想いがしっかりと伝わることが特に重要です。 Q. 入試でプログラミングを利用する場合、プログラミング言語は自由ですか？ A. 自由です。 Q. BBT 大学の他の入試とはどんな違いがありますか？ A. ハッカソン入試では、以下のような志を持つ人物を募集します。 ・新しいアプリやサービスを自分の手で世の中に出してみたい ・それらをビジネスにしたい そのため、選考基準としては上記を実現していく力があるかどうかを重視します。 なお、本入試において特別に優れた成績を収めた場合は、「ハッカソン入試奨学金制度」により奨学金が付与されます。

(1)　入試日時・会場等

【日　時】　2017 年 8 月 27 日（日）　15:00～
※開始時間 10 分前には来場してください。
※同日 10：00 よりハッカソンイベント（入学説明会含）を開催します。

【会　場】　ビジネス・ブレークスルー大学　麹町校舎

【持ち物】　筆記用具、学生証（写真付身分証明書）、モバイルパソコン

(2)　当日の注意

① 受験者の本人確認をしますので、下記いずれかの写真付き身分証明書（有効期限内のものに限る）を持参してください。
- 普通自動車運転免許証
- パスポート
- 写真付き住民基本台帳カード
- 写真付きマイナンバーカード　※裏面のマイナンバー表示部は見えないようにしてください

※ 上記の身分証明書がない場合は、住民票と他 1 種類以上の証明書を持参してください。
例）保険証、写真なし住民基本台帳カード、社員証、学生証

② 携帯電話・PHS・携帯音楽プレーヤー・パソコン等は必ずアラームを解除し、電源を切ってかばん等に入れてください。

③ 会場には試験開始時刻前の 10 分前までに来場ください。会場入室の際に本人確認をします。

④ 遅刻者は受験することはできません。

⑤ 当日、天候不良や事故・地震等により公共の交通機関に乱れが生じている場合や、大幅な遅延が予想される場合（試験開始時間より 30 分以上遅れそうな場合）は、試験確定日時案内メールに記載の電話番号に連絡し指示を受けてください。

⑥ 主要公共交通機関の乱れ（バス、車の渋滞等は除く）により、多数の受験生が開始時刻に間に合わないと本学が判断した場合のみ、開始時刻を遅らせることがあります。

⑦ その他、海外に在住などで、不明な点や質問等がある場合は入試係までお問い合わせください。

(3) 会場について

■BBT 大学　麹町校舎

住所：東京都千代田区二番町 3 番地　麹町スクエア 1 階・2 階

アクセス：東京メトロ有楽町線麹町駅 5 番出口より徒歩 1 分

(4) BBT 大学　麹町校舎での面接が難しい場合

面接は BBT 大学　麹町校舎で行います。

ただし、来校が難しい方（①　面接地より遠方にお住まいの方　②身体等が不自由な方　③外国にお住まいの方等）は入試係までお問い合わせください。

V. 合格発表と入学手続き

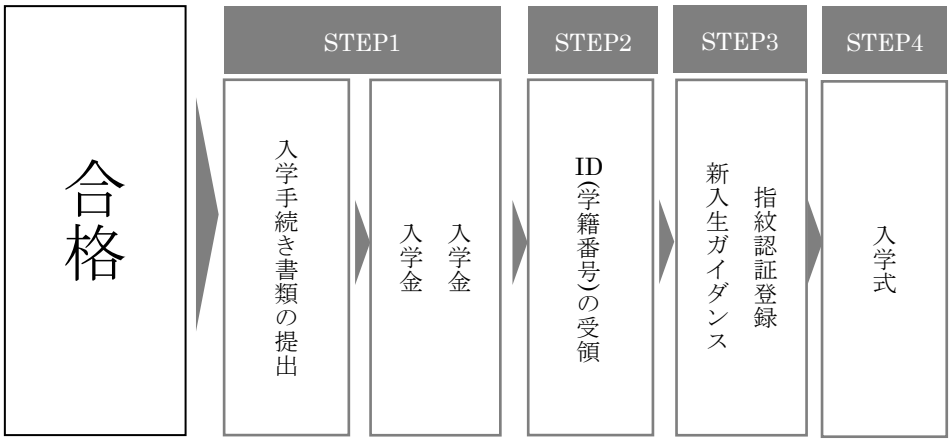
合格発表方法

メールにて合格発表日の 15 時（日本時間）に発表します。

※　電話等による個別の照会には一切行っておりません。

※　編入学・転入学出願者は、入試結果より、志願した年次への編入学・転入学が不合格であった場合でも、他の年次への編入学・転入学あるいは 1 年次にて合格となる場合があります。
その際には、合格発表日と同日に、出願時に登録されたアドレス宛にメールにてお知らせいたします。

合格後の流れ



入学手続き書類

- 合格者には、合格発表翌日に合格通知書および入学手続書類（下記 a～g）をレターパックにて、h のご案内をメールにて送付しますので、所定の入学手続き締切日までに入学手続き書類を提出してください
- 合格発表後、入学手続き書類が 5 日経過しても届かない場合は、入試係にお問い合わせください（地域によって到着日に差が生じることがあります）。
- 海外在住者には、合格発表翌日に日本郵便の EMS にて発送しますので、地域によっては 1 週間程度かかる場合があります。

※　所定の期日内に入学手続きが完了しない場合は、入学が認められない場合があります。

(1)　送付資料

郵送書類	返送の必要
a.　合格通知書	-
b.　入学手続きの手引き	-
c.　誓約書	◎
d.　保証書・同意書 ※　入学時に 20 歳未満または入学者本人以外が学費納入の場合は提出してください。	◎
e.　緊急連絡先届	◎
f.　個人情報の取り扱いについて	◎
g.　預金口座振替依頼書・自動払込利用申込書	◎
h.　秘密保持規約への同意手続き秘密保持規約への同意手続き	-

≪返送書類≫

c～g の各書類に加え、
・住民票（発行後 3 ヵ月以内）を提出
してください。

※　出願時に卒業（修了・修得）見込みの場合は、卒業（修了・単位修得）証明書または成績証明書も提出してください。

学費（非課税）

(1) 支払い方法（両学科共通）

学費の支払い方法は、年間の「一括払い」と半年毎の「分割（2 回）払い」があります。

		一括払い（1 年分）	分割（半年分×2 回）払い 【1 回目】≪入学手続き時≫	【2 回目】≪3 月上旬≫
学費	入学金	315,000 円	315,000 円	—
	授業料	735,000 円	367,500 円	367,500 円
	システム利用料	120,000 円	6,000 円	6,000 円
合計		1,170,000 円	742,500 円	427,500 円

※ 上記、分割払いおよび一括年額払い共に教材費、インターネット接続機器、プロバイダー料金および通信費等は含みません。
※ 在籍中に学費が改定された場合は、改定時から新たな学費が適用されます。
※ 単位修得できなかった科目を再度履修する場合の再履修費（1 単位につき 2,000 円）は別途納入いただきます。

(2) 納入期限

入学金・授業料・システム利用料は上記期限までに納入してください。

		納入期限	納入金
入学金		2017 年 10 月 12 日（木）	315,000 円
授業料・システム利用料納入期限	1 年分一括でお支払の場合	2018 年 3 月 7 日（水）	855,000 円
	半年分に分割してお支払の場合	1 回目　2018 年 3 月 7 日（水）	427,500 円
		2 回目　2018 年 9 月 5 日（水）	427,500 円

※ 入学金納入期限日までに納入手続きが完了しない場合は、入学の意志がないものとみなし、入学許可を取り消します。
また、いかなる場合においても一旦納入された入学金は返還されません。
※ やむを得ない事情により学費の延納を希望の場合は、事前に入試係までご連絡ください。

(3) 5 年目以降学習継続支援制度（両学科共通）

5 年目以降も在学する場合（3 年次編入学・転入学を除く）は、システム利用料（24 万円／年）のみの納入となりますが、単位修得できなかった科目を再度履修する場合の再履修費（1 単位につき 2,000 円）は別途ご納入いただきます。

	1 年次入学	2 年次入学（編入学・転入学）	3 年次入学（編入学・転入学）
授業料	5 年目より無料	5 年目より無料	—

※ 別途システム利用料（年間 24 万円）がかかります。
※ 休学・停学期間は在学期間に含まれません。
※ 在籍中に学費が改定された場合は、改定時から新たな学費が適用されます。

入学辞退

出願・入学にあたり納入された書類および学費は、理由の如何に関わらず返還しません。
ただし、2018 年 3 月 30 日（金）正午までに、入学志願者本人が入学辞退の旨を書面にて提出した場合は、授業料・システム利用料を返還します。ただし、その場合においても、入学金の返還には応じられません。

教育ローン

(1) 民間クレジット会社（貸与型）

本学では、セディナ・ジャックス・オリコの提携教育ローン制度を導入しています。
利用を検討される方は、入学準備の早い段階でご利用条件やお申込方法をご確認ください。出願前から入学費用の借入れ審査を受けることもできます。詳しくは、経営学部ホームページをご覧ください。
http://bbt.ac/admission/loan.html

(2) 民間銀行（貸与型）

本学では、楽天銀行株式会社の提携教育ローン制度を導入しております。
（同行で扱う通常の教育ローンより低い利率でお借り入れが可能です。）
利用を検討される方は入学準備の早い段階でご利用条件やお申込み方法をご確認ください。
出願前から入学費用の借入審査を受けることもできます。詳しくは経営学部ホームページをご覧ください。
http://bbt.ac/admission/loan.html

(3) 国の教育ローン（貸与型）

日本政策金融公庫の教育一般貸付に申し込みが可能です。詳しくは「株式会社日本政策金融公庫」の各支店までお問合せください。
日本政策金融公庫国民生活事業ホームページ
http://www.jfc.go.jp/n/finance/search/ippan.html

- 教育ローンコールセンター　0570-008656（ナビダイヤル）又は 03-5321-8656
  月～金 9:00～21:00　土 9:00～17:00

日本学生支援機構奨学金

経済的理由により就学に困難がある優れた学生等を対象に、独立行政法人日本学生支援機構（旧日本育英会）が奨学金制度を実施しています。
本制度は、教育の機会均等に寄与し、社会に有用な人材を育成する為、人物、学業成績ともに優秀でありながら経済的理由により就学困難な学生に対し、学資の貸与を行うものです。
本制度の利用を希望する方は、入学後、4 月または 10 月に本学事務局を通じ在学採用を申請してください。
詳しくは、独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）ホームページをご確認ください。
http://www.jasso.go.jp/index.html

ハッカソン入試合格特典

ハッカソン入試の合格者には、以下の(1) ～ (3)の特典があります。

(1) ハッカソン入試奨学金制度
ハッカソン入試で優秀な成績を納めた方には、入学金（315,000 円）返還の奨学金が付与される場合があります。
※ 一部の成績優秀者のみになります
※ 他の特典などによる入学金および授業料減免との併用は不可です。

(2) マンツーマンプログラミングレッスン　（先着 5 名）
BBT 大学プログラミング講義の教員による入学前からのマンツーマンプログラミングレッスンです。はじめてプログラミングをする方でも 1 から指導を受けられ、プログラミング経験者がアプリケーションを開発したい場合には、そのフォローを受けられます。
※希望者のみ先着 5 名になりますので、希望者はその旨を合格発表後 BBT 大学入試係まで一報ください
※マンツーマンレッスンの時間は、1 人あたり最大 20 時間です

(3)「IT スタートアッププロジェクト」への参加
BBT 大学で実施している、起業や IT サービス開発をフォローするプロジェクトに参加することができます。BBT 大学の在学生と一緒に、起業や IT サービス開発に向けての第一歩を踏み出してみませんか？
※希望者のみになりますので、希望者はその旨を合格発表後 BBT 大学入試係まで一報ください

システム要件

受講の上で下記のシステム環境が必要ですので、各自ご準備ください。ただし、履修する科目および大学システムの仕様変更に応じて CPU、メモリ、ハードディスク、ソフトウェア、付属機器等要件が変更となる可能性があります。

(1) ネットワーク環境およびパソコン

➢ ネットワーク環境について
インターネットの継続的接続を必要とするため、常時（長時間）接続可能なプロバイダーを推奨します。

➢ パソコンについて
次ページの「AirCampus® ポータル動作環境」および「指紋認証機器動作環境」を満たすもの
※動作環境は、随時アップデートされます。こちらのサイトより最新状況を確認ください。
⇒http://aircamp.us/support/env_portal/

(2) ソフトウェア

Microsoft Office

Windows	Microsoft Office 2007、2010、2013、2016 のいずれか（Excel/Word/PowerPoint）
Mac OS	Office for Mac 2011、2016（Excel/Word/PowerPoint）

※オープンオフィス（無料ソフト）は使用不可。

(3) ヘッドホンおよびウェブカメラ

➢ ヘッドホンについて
片耳タイプのもの、Bluetooth のものはお勧めしません。
➢ ウェブカメラ（パソコン内蔵可）

(4) その他

➢ プリンタ（推奨）

受講推奨環境と再生テスト

以下のページにて、受講推奨環境の確認と再生テストを行うことができます。
⇒http://aircamp.us/support/check/

問題なく動画を再生できる場合でも、スムーズに受講するには、「受講に必要な環境」を満たしている必要があります。こちらのサイトより最新状況を確認できます（随時アップデートされます）。
⇒http://aircamp.us/support/env_portal/

AirCampus® ポータル動作環境

下記の動作環境は 2017 年 4 月時点のものです。動作環境は随時アップデートされるため、新しいパソコンの購入や OS のアップデートを検討される方は、必ず下記のサイトより、最新状況を確認してください。
⇒http://aircamp.us/support/env_portal/

	Windows	Mac OS
対応 OS	7 / 8.1 / 10	Mac OS 10.10 / 10.11 / 10.12
ブラウザ	Internet Explorer　11 Microsoft Edge Firefox Google Chrome	Safari9 以降 Firefox Google Chrome
必須環境	Flash Player 10.0 以上	
CPU	1GHz 以上　（2GHz 以上推奨）	
メモリ	1GB 以上の物理メモリ　（2GB 以上推奨）	
ネットワーク	こちらの自動環境チェックをお試しください。 http://aircamp.us/support/check/	
サポート対象外	仮想環境 ベータ版の OS、アプリケーション	
その他	上記環境での動作を確認しておりますが、すべての環境において正常動作を保障するものではありません。 Microsoft Edge において軽微な文字のずれを確認しておりますが、その他の動作に問題はありません。	

指紋認証機器動作環境

本学の科目では、指紋認証の専用機器（学校より 1 台を無料配布）を用いて本人確認を行いす。お持ちのパソコンが以下の要件を満たしているかご確認ください。

	Windows	Mac OS
対応 OS	Windows 7 / 8.1 / 10	Mac OS 10.10 /10.11/10.12
CPU	CPU 1GHz 以上（2GHz 以上推奨）	
メモリ	1GB 以上の物理メモリ（2GB 以上推奨）	
注意事項	・ 最新版のサービスパックが適用されている環境でご利用ください。 ・ ご利用の端末に既に別の指紋認証ツールがインストールされている場合、BBT 大学が提供する指紋認証ツールが正しく認識されないケースを確認しております。別の指紋認証ツールがインストールされている場合は、削除をお願いいたします。	・ 各 OS では最新版のアップデートを適用の上でご利用ください。 ・ 指紋認証機器とご利用のパソコンは紐付けて登録されます。パソコン変更の際は、マニュアルをご参照ください。

（指定 B）

単位認定申請書

年　　月　　日

ビジネス・ブレークスルー大学　学長　殿

学籍番号／受験番号：

氏名：

以下の通り、単位認定を申請いたします。

１．申請科目

２．取得した資格、検定試験（成績も記載してください）

３．添付書類の内容（合格証書、スコア票　等　※英語科目の場合は、必要な背景資料）

キリトリ線

（指定 C）

ビジネス・ブレークスルー大学　学校長殿

提出用

専修学校専門課程（専門学校）卒業・成績証明書

＊出身校に作成を依頼し、本書式により提出のこと。

ふりがな		性別	男	生年月日	昭和・平成　年　月　日
氏名			女		
学校名および学科名	学校　科	専修学校専門課程 設置認可（※） 昭和・平成　年　月			
分野（○で囲む）	工業 ／ 商業実務 ／ 農業 ／ 医療 ／ 衛生 ／ 教育・社会福祉 ／ 服飾・家政 ／ 文化・教養				
入学年月日	昭和・平成　年　月　日　入学	卒業年月日	昭和・平成　年　月　日　卒業		
休学期間	昭和・平成　年　月　日　～　昭和・平成　年　月　日　＊休学期間がある場合のみ記載				

【該当する方の□にチェックをお願いします。】　（※）創立年月ではありません。 裏面をご参照ください。

□ 上記の者は、平成 6 年 6 月 21 日文部省告示第 84 号の規定により専門士の称号の付与が認められた課程を卒業または卒業見込みの者である。	□ 上記の者は、専門士の称号を得ていないが、 修業年限が 2 年以上であり、かつ、総授業時数が 1700 時間以上であるとともに、試験等により成績評価を行い、その評価に基づいて課程修了の認定を行っている課程を卒業した者である。

キリトリ線

【修得科目をご記入下さい。「授業科目名」「授業時数または単位数」「評価」が明記された成績証明書で代替えしても結構です。】

授業科目名	授業時数または単位数	評価	授業科目名	授業時数または単位数	評価
			総合計	単位・時間数	

上記の記載事項に誤りがないことを証明致します。

平成　年　月　日

学校所在地

学校名

学校長名　印

専修学校専門課程（専門学校）卒業・成績証明書発行ご担当者　様

証明書を発行いただくにあたってのお願い

本証明書は専修学校専門課程を卒業された方が、本学への編入学を志望するにあたって資格要件の有無を確認するための書類です。次の留意点をご一読の上、発行くださいますよう、ご協力をお願い致します。尚、ご不明な点がございましたら本学の入試係までご連絡ください。（入試係→bbtuinfo@ohmae.ac.jp）

1.　発行の条件

この証明書は、編入学の資格要件を満たす専修学校専門課程を卒業したことを証明する書類です。以下の①と②をともに満たす方が対象となります。

①　高等学校等を卒業し、大学入学資格を有する方	＋	②　出身校の専門課程が、以下のＡまたはＢのいずれかに該当する方

Ａ　専門士の称号の付与が認められている（専門士は平成 6 年度以降制定の称号）

または、

Ｂ　・修業年限が 2 年以上で、修了に必要な総授業時数が 1700 時間以上である。 ・試験等により成績評価を行い、その評価に基づいて課程修了の認定を行っている。

＊専修学校制度発足（＝昭和 51 年 1 月）前の卒業者は編入学の資格がありませんので、本証明書の発行はお控えください。

＊本証明書の請求者が卒業した年月日以降に専修学校専門課程としての認可を受けた場合は、本証明書の発行はお控えください。また、**本証明書を発行できない理由を余白に明記してください。**

2.　記入事項

すべての項目について、もれなくご記入ください。なお、『授業科目名、授業時数または単位数、評価』の欄につきましては、記載項目が同一であれば貴校の成績証明書を別添えで提出していただいても構いません。ただし、成績証明書を別添えで提出していただく場合も、下欄の「発行年月日、学校所在地、学校名、学校長名、校長印」も含め、もれなくご記入ならびに押印をお願いいたします。

3.　証明書の請求者が卒業した学校が廃校もしくは統合されている場合

証明書の請求者が卒業した学校名で本証明書を作成できない場合は、恐れ入りますが、本証明書の発行者がその理由を余白に明記してください。

BBT University

●書類送付先（入学センター）

〒145-8799
日本郵便株式会社　田園調布郵便局留
ビジネス・ブレークスルー大学　経営学部　入学センター

●入学手続きについてのお問い合わせ先（入試係）

TEL:0120-970-021　受付時間：9:30～17:30（土日祝日を除く）
E-mail: bbtuinfo@ohmae.ac.jp
http://bbt.ac/